



式 辞

中島ロータリークラブ 40 代会長

永 谷 誠 行

中島ロータリークラブ創立 40 周年に催し、武元七尾市長、炭谷ガバナーはじめ来賓の皆様方、友好クラブ、交流クラブの方々、そして、普段は大変お世話になりっぱなしの会員の奥様方の御参列を頂きまして、記念式典を、ここ日本一の旅館加賀屋さんで行える事は、この上ない慶びでございます。

創立時の思い出等は後ほどチャーターメンバーの辻口 昇さんに卓話を頂く事になっております。私は、今は亡き先輩から、こんな話を聞かせて頂いた事があります。ロータリークラブが出来る前迄は、いろんな会合で 30 分～ 40 分遅れて始まるのが当たり前になっていた中島時間と言うものが存在していた様です。ところが、12 時 30 分に、確実に、正確に開会点鐘される例会に刺激されたかの様に、開会時間厳守の流れが、その他の会でも出来、広がっていったと…。久保年度の地区大会が羽咋で行われた折、パストガバナーのお祝いの言葉の中に、能登と万葉集に関わる事に触れられる一説がございましたが、それは正に此処、この地なのです。七尾湾に浮かぶ机島を眺めながら、この沖を大伴家持が舟を進めて行ったのです。熊木川を昇り能登の国歌三集は私達熊木郷に伝承されていたものを載せて頂いております。そして中島小学校前には大きな前方後円墳が有り、古い歴史を感じさせてくれます。また、この地特有の形態を今に伝える杵旗の祭は古くから伝わる文化の薫り高いものがございます。そうした古き良きものと、アメリカから伝わって来た新しいロータリー精神とを旨く融合させ、日本独特の更なる上に有るものを、私達中島ロータリアンは目指して 40 周年を節目として考えていきたいものだと思います。

七尾市長のお許しを得て、前、例会場に有った四つのテストの石碑を現在の例会場前庭に移動させてもらう事が出来ました。細やかではございますが、七尾市中島図書館へ少しでもお役に立てばと金一封をお送らせて頂きます。又、人事移動で転勤が常の北國銀行支店長お 2 人方の御理解のもと、ポールハリスフェローと合わせて米山功労者に会員全員が登録された事は特筆される感慨深いものがあります。

時間の制約もありまして、言葉足らずのところは御容赦頂きまして 40 周年祝賀会を催す事に対して御協力下さいました皆様方に深く感謝申し上げます。

ありがとうございます。